

# 登山 お花煙

三ノ沢のお花煙は  
自然が残っている

◆中ア・駒ヶ岳 三ノ沢岳  
▽7月29、31日▽静岡・三島勤労者山岳会 藤巻郁雄ほか24人

29日、第10回夏山登山学校として御岳山へ登る仲間27人と、貸し切りバスで18時半三島を出発。途中、みどり湖温泉郷で御岳隊と別れる。中央道を駒ヶ根ICで降り、菅ノ台へ23時15分、幕営。

30日、快晴。6時、予約したバスでしらび平へ向かう。ここで中御所パーティー2人と別れる。

千畳敷着。初めて訪れた生徒たちは素晴らしい景色に歓声をあげる。背後の南アも全山が見渡せ、実に雄大である。カールを通り、駒のテント場へ向かう。カールには、クロユリ、シナノキンバイ、ミヤマキンポウゲ、ハクサンイチゲ、クルマユリなどの花が美しく咲いている。中岳を越えてキャンプ場へ8時45分。キャンプ料1人600円とのこと。少し高い感じだ。設営後、宝剣岳(二九三三)へ向かうが、人ごった

がえし、なかなか前へ進めない。しかし、南稜(りょう)を経て三ノ沢岳分岐から三ノ沢岳へ向かう縦走路は先ほどまでのにぎやかさがそのよりに静かだ。正面に三ノ沢岳がどっしりと鎮座し、左手には空木(うつぎ)岳、そして何年か前に登った南駒が、小ピークを二つ越え、登りとなり、カールの上端をたどり肩へ出る。このあたりのお花煙はいかにも自然が残っている。もちろんゴミなど皆無である。大きな岩を一つ、二つ越え、二八四七の三ノ沢岳頂上に立つ。11時40分。中央アルプスが一望できる素晴らしい場所だ。三角点は頂上より低いところにあるので、実際の高さはそれより高いと思われる。



朝の駒ヶ岳頂上に勢ぞろいした三島山岳登山学校パーティー

写真を撮り下山。宝剣の岩場を通るのがいやな人がいて半数は千畳敷へいったん下ってキャンプ場まで登り返すが、非常にきついアルパインだ。

夕食は登頂祝いの赤飯とハムのガリック焼き。疲れているため、交流会もそこそこにやむ。

31日、4時起床。快晴。間ノ岳から日がぼる。ぞうにを食べ、6時出発。駒ヶ岳(二九五六)の頂上へ全員で立つ。上松道Aコースを下り、2合目まで下り、13時、御岳隊を乗せたバスが迎えにきた。拍手と歓声があがる。バスのなかでたがいに健闘をたたえあい、三島へと向かう。(後藤隆徳)